

## 仕様書（ハードウェア）

### 成田市立図書館

提案するハードウェアは、成田市立図書館第6次図書館システムの目的を応えるものであること。

#### ■ネットワーク

- ・ネットワークの構成は、セキュリティに配慮したものとする。
  - ・図書館ネットワークは、別紙、ネットワーク構成図 2013 を参照して提案すること。
  - ・現行システム（第5次）と次期システム（第6次）との大きな変更点は、業務のインターネット系をなくし業務のシステム系でインターネット接続を可能にすることである。
  - ・利用者インターネット系は別途調達する。ネットワーク構成図 2013 の L3 スイッチまでを調達すること。
  - ・本館における基幹の LAN は既存のものを使用できる。カテゴリ 5 の LAN が設置されている。ただし HUB は今調達で切り替えること。
  - ・予約棚コーナー周辺の機器は移動があるので LAN 配線が調達に含まれる。
  - ・本館の LAN は別紙、成田市立図書館ネットワーク最終配線（1F）、ネットワーク最終配線（2F）を参照のこと。また現行システムで設置している HUB は、別紙、2007 システム HUB 台数を参照のこと。
  - ・業務用クライアントは、端末によりインターネットにアクセスできる範囲を限定する。以下の3パターンを想定している。
    1. 制限なし
    2. 図書館指定の TooLi、県内図書館、NDL、アマゾン、紀伊国屋、NOCS などホワイトリストによる制限
    3. ネットアクセス不可
- 分館は、成田分館、公津の杜分館以外は3にする。

#### ■サーバ

- ・OS セキュリティアップデートが自動でリース期間はできること。
- ・無停電装置を設置し5分以上持ち、その間に安全にシステムをシャットダウンできること。
- ・ディスクは、ホットスワップできること。
- ・ディスク障害を検知する機能を用意し、メール等でアラートできること。
- ・システムに必要なサーバ構成を提案すること。サーバラックの新規設置を提案する場合は、アンカー等耐震対策を含めること。現行のラックの HP 10636 G2 を使用しても良い（アンカー設置済み）。

- ・リモートメンテナンスのための機器ネットワークを含めること。
- ・データベースサーバなど、個人情報が含まれるサーバは不正アクセスに対する対応をネットワーク構成上も含めて対応すること。
- ・クライアント管理サーバ等のサーバに、ファイルサーバ機能を設定すること。また、Apache と pukiwiki かそれ同等の wiki ソフトをインストールすること。現在業務で使用している職員の情報共有サイトはPukiwiki で作成しており同等の機能を実装させる。データの移行は当館側で行う。
- ・クライアント管理サーバ等のサーバに、WSUS と同等の機能を有し、クライアントに効率的に MicrosoftUpdate 同等の対応を行えること。
- ・CTI サーバは、電話 4 回線以上つなげること。
- ・CTI サーバは、システムと連携してインバウンド、アウトバウンドに対応していること。
- ・成田市立図書館ドメインメール (@library.narita.chiba.jp) は、IMAP で受信および送信を管理できる機能を提供すること。アドレスは現在 13 設定している。容量は現行のデータを移行し、さらに 6 年間分のデータを保存できるようにすること。
- ・データ量は 1.23G (2011 年 12 月末現在) である。
- ・IMAP サーバは、ローカル環境用に構築すること。
- ・公開用 Web サーバのアクセスログは、6 年分以上保存できるようにすること。

#### ■クライアント PC

- ・業務用のデスクトップ端末は以下のスペックを満たすこと。

CPU インテル Core i3 以上

USB 3.0

HDD 100G 程度

オプティカルドライブ DVD-ROM16 倍速以上

メモリ 3G 以上

OS Windows7 以降

モニターと本体は別にすること。

参考資料 現行クライアント PC

CPU Pentium D 3.00G、USB 2.0、HDD 70G、メモリ 512M、OS WindowsXP

#### ■館内利用者用 OPAC

- ・提案するシステムでの利用で検索スピードや画面展開が遅延することがない機能で提案すること。
- ・本体筐体は、OPAC 台の下のカギ付きケース等に収納可能である。

#### ■ノートパソコン

- Windows のノートパソコンと MACBOOKPro を各 1 台納品すること。
- MACBOOKPro のスペックは、15 インチ(光沢ワイドスクリーンディスプレイ):2.2GHz、メモリは 8GB、HDD は 500GB、JIS キーボードであること。
- Windows ノートパソコンは、ディスプレイ 14.0 インチ、CPU インテル Core i3 以上、メモリ 8G、無線 LAN 搭載、Web カメラ搭載、OS Windows7 以降、HDD 100G 程度、バッテリー駆動時間 5 時間以上であること。
- Windows には図書館システムが稼働できるように設定すること。
- MACBOOK に Parael Desktop と windows をインストールし、図書館システムが稼働できるように設定すること。

#### ■モニター

- 業務端末は 17 インチ以上を提案のこと。
- OPAC 用のディスプレイは、WebOPAC、タッチ OPAC に合わせて最適なものを提案のこと。

#### ■プリンタ

- プリンタは 100BASE 以上のネットワーク対応のもので、設置館のすべての業務用クライアントから印刷できるように設定すること。スレート端末を提案する場合は、スレート端末からも印刷できること。
- プリンタは N アップ印刷設定可能なこと。
- レーザプリンタ (白黒) 両面印刷可能、A4 対応以上のもので、印刷速度は A4 片面 30ppm 程度、サイズ (W×D×H) を 600×600×400mm 程度に抑えること。給紙トレイは 250 枚程度で、手指しトレイもあること。また、はがきのあて名印字にも使用するので、可能にする機器が必要な場合本館用に 1 つ用意すること。
- レーザプリンタ (カラー) 両面印刷可能、A3 対応以上のもので、印刷速度は A3 片面カラーで 15ppm 程度、サイズ (W×D×H) を 600×600×500mm 程度に抑えること。給紙トレイは 250 枚程度で、A4 と A3 の 2 つのトレイを用意し、手指しトレイもあること。また、はがきのあて名印字にも使用するので、可能にする機器が必要な場合公津の杜分館用に 1 つ用意すること。

#### ■レシートプリンタ

- 80mm のサーマルロール紙を使用し、パソコンとは USB で接続、パーシャルカットのオートカッターを有すること。サイズ (W×D×H) は、145×235×190mm 程度に抑えること。

#### ■NAS ドライブ

- ・ LAN 接続可能でポート数は 2 つ以上のこと。インターフェースは、IEEE802.3ab / IEEE5802.3u / IEEE802.3 準拠のこと。
- ・ 容量は 4TB 以上で、RAID5、RAID1 に対応していること。
- ・ 無停電電源に接続すること。

#### ■スキャナー

- ・ ドキュメントスキャナーは、卓上型で A 4 対応以上のもので、両面/片面読み取り可能なこと。また、カラー/グレースケール/白黒で読み取り可能なこと。読み取り速度は 200dpi で両面 20 枚程度、600dpi で両面 5 枚程度であること。
- ・ フラットヘッドスキャナーは、卓上型で A4 対応以上のもので、解像度は 4800dpi 程度であること。出力フォーマットは JPEG、TIFF、PDF、BMP、PICT に対応していること。

#### ■バーコードスキャナー

- ・ バーコードスキャナーは、USB 接続で、NW-7、EAN、JAN、CODE39 が読み込み可能なこと。設定で NW-7 のみだけなど個別に設定可能なこと。トリガーボタンを押さずに連続走査設定が可能なこと。音声で読み取り確認ができること。

#### ■スレート PC などハンディ端末

- ・ 移動図書館、緊急時貸出、書架での資料状況照会に使用するので、持ち運びしやすく、落としにくい装備を付けること。
- ・ バッテリによる動作時間は 5 時間以上であること。
- ・ IEEE802.11n IEEE802.11a IEEE802.11g IEEE802.11b 規格準拠の無線 LAN が可能なこと。
- ・ ペンが利用可能であれば併せて調達のこと。
- ・ システムと無線 LAN で接続し、資料状況照会、資料検索が最低限利用可能なこと。

#### ■業務用無線 LAN 機器

- ・ IEEE802.11n IEEE802.11a IEEE802.11g IEEE802.11b 規格準拠で、データ転送速度が 300Mbps 以上のこと。セキュリティは WPA2-PSK (AES/TKIP) MAC アクセス制限など暗号化と接続制限ができるもので、スレート PC、ノート PC から利用できること。
- ・ 設置場所は、以下の条件を満たすこと。
  1. 本館 1 階一般公開書架と児童コーナー、成田分館、公津の杜は書架の前に立った位置から受信できること。
  2. 本館書庫 1 階、中 2 階は書架の前に立った位置から受信できることが望ましいが、最低で 3 ケ所で書架の前に立って書架の前に立った位置から受信できること。

## ■自動貸出機

- ・利用者がセルフサービスで図書の貸出・貸出延長処理が行える機能を有すること。また、その処理選択は、ワンタッチ選択で行えること。
- ・処理されたデータは、図書館業務システムにリアルタイムに反映されること。また、図書館業務システムで保有する貸出状況データとの照合による貸出冊数チェック機能、延滞等の理由による貸出禁止データ等との貸出制限チェック機能などの貸出時の各種チェック機能を有すること。
- ・サイズ (W×D×H) は、550mm×450mm×750mm 以下であること。
- ・15 インチ以上の液晶カラータッチパネルを内蔵し、操作手順を示すメッセージ類の表示機能を有し、次に挙げる項目の画面表示機能を有すること。

1. 利用者 ID
2. 図書タイトル
3. 資料番号
4. 返却期限
5. 異常終了時メッセージ

ただし、これらの項目の表示は、管理者が任意に表示・非表示の設定変更が行える機能を有すること。

- ・個人認証については、図書館業務システムの利用者情報と照合すること。なお、本システムと照合するための利用カード番号は、NW-7 の 10 桁数字である。
- ・貸出及び貸出延長処理後、レシートの発行機能を有すること。また、レシート用紙切れの際に「稼働を中止し用紙の補給を待つ」か「レシートを発行をせずに処理を継続する」かについて、管理者が任意に選択し得る機能を有すること。
- ・装置本体に内蔵されたレシート発行用プリンターは、幅 80mm 以上の感熱ロール紙に対応し、英数字、JIS 第 1 水準及び第 2 水準、Unicode (UTF-8) の漢字の印字機能を有すること。
- ・レシートプリンターはパーシャルカットのオートカッターを有すること。
- ・プリンター用紙の交換は管理者のみができる構造であり、且つ用紙の交換は、ワンアクションで簡易に交換が可能なこと。
- ・レシートは、固定の項目（館名や連絡先や注意事項）のほか次に挙げる項目の印字機能を有すること。
  1. 操作日時
  2. 貸出資料に予約があるときにタイトルの前後に「次に予約あり」の表示
  3. タイトル
  4. 資料番号
  5. 返却期限

## 6. 異常終了の理由

7. 上記の情報の以外に、個々の利用者・個々の資料等について図書館業務支援システムから印字することを指定されたメッセージ。

- ・資料の表紙または裏表紙の背に対して垂直（バーコードのバーが背に平行な向き）に貼付されたバーコードラベルを読み取るため、NW7/Code39/JAN/Code128/Code93 バーコードから任意に設定可能で、移動式バーコードスキャナを装備していること。資料の背より 1cm から 14cm、地より 1cm から 26cm の範囲内で表紙又は裏表紙に貼付されたバーコードを読み取る機能を有すること。
- ・貸出、貸出延長処理時に資料に貼付されている 3MTM Tattle Tape™ 感知マーカまたは他の磁気テープに磁気信号の消去処理を自動的に行う機能を有すること。
- ・貸出処理において、バーコードをスキャンし貸出処理した資料は、磁気信号の消去が完全できること。3MTM Tattle Tape™ 感知マーカの種類は、B2、文庫用、R2、SB-3、DVM-1、DCD-2 である。既に装着済みの 3MTM Tattle Tape™ 感知マーカ（住友スリーエム製）との完全な互換性あること。
- ・利用者が容易に操作言語の選択（日本語、英語、ひらがな）ができ、またその利用者が処理を終了したとき、初期設定言語に戻ることに。更に画面表示に関しては管理者が容易に表示言語を選択できること。
- ・画面上で利用者が現在の操作項目、またその後の操作項目がわかるよう操作をナビゲートする表示を有すること。
- ・画面レイアウト、色に関してはユニバーサルデザインに基づいた画面構成であること。
- ・利用者出現待ち時間、資料提示待ち時間、利用者カード提示待ち時間、次操作待ち時間を、管理者が任意に設定する機能を有すること。
- ・装置は次に挙げるエラーについては画面表示、またはレシートによって即時に利用者に対してエラーであることを通知し、処理を中止する機能を有していること。また、その際、必要な信号をホストコンピュータから受取れるよう措置されていること。

### 1. 利用者に関するエラー

「図書延滞中」、「貸出停止中」、「限度一杯貸出中」、「有効期限切れ・未登録」、「異種・不良カードなど」、「カード読み取りエラー」「利用備考あり」など。

### 2. 資料に関するエラー

「貸出禁止図書」、「貸出点数超過」、「他者割当資料への貸出要求」、「貸出中図書への貸出要求」、「登録番号エラー」、「バーコード読み取りエラー」など。

### 3. 操作に関するエラー

「プリンター用紙切れ」、「同時複数処理」など。

- ・図書館システムとの通信仕様に関しては ABC Protocol (第 5 版) および SIP, SIPII に対応しており、図書館システムの仕様に対し容易に選択可能なこと。
- ・貸出、貸出延長の各処理の完了前に資料の入れ替えを禁止した機能を有していること。

- ・2冊以上の資料を処理台に置いて各種処理をした場合には、当該処理を中止する機能を有していること。
- ・装置の利用状況を把握するため、日計、月計、年計など任意の期間について、時間帯別および曜日別に利用者数、処理資料数を集計可能な簡易統計機能を有していること。処理が施されたデータはディスプレイへの表示、レシート用紙への印字の他、汎用のワープロソフトや表計算ソフトにて処理し得るファイル形式で出力する機能を有すること。
- ・自動貸出返却装置と図書館業務支援システムの通信履歴を自動貸出返却装置内にファイルとして残す機能を有すること。また、履歴のファイルの保存日数は管理者が1日～365日で選択可能なこと。26.以下の項目については、日本語及び英語の二カ国語で表示されること。
  1. カード挿入口
  2. レシート排出口
- ・急な停電、落雷、コンセントの抜けが万が一発生しても、それによる機器への悪影響がない構成となっていること。また、瞬断可能なこと。
- ・装置には起動・停止のためのキースイッチが装備されていること。オプションとして、自動起動・自動停止のためのウイークリータイマーが装備可能なこと。

#### ■ブックチェックユニット

- ・資料の貸出時の 3MTM Tattle Tape™ 感知マーカ（住友スリーエム製）または他の磁気テープの信号を消去、また返却時には信号を付加する機能を有すること。
- ・信号の消去と付加をランプで目視確認できること。
- ・貸出／返却の切り替えがワンタッチで行えること。
- ・切り替え磁気を発生させないためのボタンを有し、帯磁状況を確認できること。
- ・複数の本検知センサを有し、作業者がワンタッチで使用するセンサを選択できること
- ・一般図書のほか、CD 及び DVD の処理にも対応すること
- ・サイズ (W×D×H) は、420mm×330mm×230mm 以下であること。
- ・電源は AC100V とすること
- ・カウンターに埋め込み使用することも可能なこと

#### ■スチールパーテーション仕様（予約棚コーナー）

- ・W 構造で、国土交通大臣認定を受けた不燃材料を使用すること。
- ・W 構造で、パネル内部の配管・配線が可能なこと。

名称		材料
骨材	天井レール	冷間圧延鋼板1.0mm<焼付塗装仕上>
	壁面レール/床レール/巾木	冷間圧延鋼板0.8mm<焼付塗装仕上>
	ポール/コーナーポール	冷間圧延鋼板1.2mm<焼付塗装仕上>
	Rポール	アルミ押出型材<焼付塗装仕上>
	上下棧	冷間圧延鋼板1.0mm<焼付塗装仕上>
	横棧	冷間圧延鋼板1.2mm<焼付塗装仕上>
	エンドフィニッシュ	冷間圧延鋼板1.2mm<焼付塗装仕上>
枠	ドア枠/開口枠	冷間圧延鋼板1.2mm<焼付塗装仕上>
	ガラス枠	アルミ押出型材<焼付塗装仕上>
	ガラス枠ビート	ポリ塩化ビニル(PVC)対応ガラス厚3~6.8mm
パネル	表面材	カラー鋼板0.55mm 電気亜鉛めっき鋼板0.55mm<焼付塗装仕上>
	芯材	せっこうボード12.5mm
ドア	表面材	カラー鋼板0.55mm 電気亜鉛めっき鋼板0.55mm<焼付塗装仕上>
	芯材	ペーパーコア
	目板	アルミ押出型材<焼付塗装仕上>
	ドアロック	美和ロックLE-24-BS64mm・ゴールG-5N-BS64mm(メーカー標準仕様)
	戸当り	シブタニDCA-56Z-40(メーカー標準仕様)

#### 【本工事】

W900×D70×H2300 20セット

W900×D70×H2300 8セット

W900×D70×H2300 2セット

W900×D70×H2300 1セット

カムドア 2セット

エンドポール 1セット

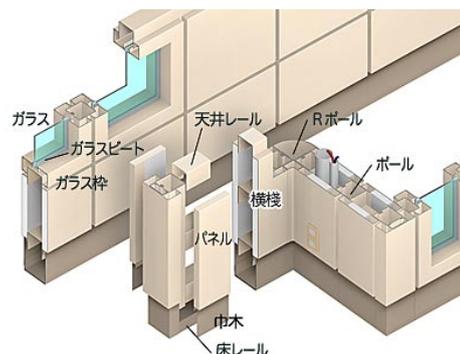
壁面レール 2セット

コーナーポール 5セット

エンドフィニッシュ 5セット

吸音パネル 1式

別紙 本館予約棚配置図のとおり施工すること。



▲構造

#### ■書架仕様（予約棚コーナー）

##### 【材料】

原材料の鋼材は JIS-G-3141 に規定する鋼材を母体とし、支柱は JIS-G-3166 に規定する一般構造用四角形鋼管を使用するものとする。

##### 【構成部材の名称・寸法】

構成部品の名称・寸法は下記のものとする。

- ・単式書架 7 連 5 段 (A4 サイズ) W6325 mm×D225 mm×H1970mm 1 台
- ・複式書架 4 連 5 段 (A4 サイズ) W3625 mm×D500 mm×H1970 mm 1 台

[1. 支柱]

25×40 mm×厚み 1.6 mmの角型鋼管を 1970 mmに機械切断し、長方形の棚受け孔（4.5×16 mm）を 25 mmのピッチで支柱の相対する 40 mmに抜き加工するものとする。高さ調整用のアジャスターを取り付け、床面の凸凹に対応ができるものとする。単式では支柱が 2 本、複式では 3 本を使用。

[2. 下枠]

厚み 1.6 mmの鋼板を切断曲げ加工し、支柱との連結チャンネルを溶接し支柱下部に 875×40×70 mmの下枠をボルト止めするものとする。

[3. 天板]

厚み 1.0 mmの鋼板を切断曲げ加工し、支柱との連結チャンネルを溶接し支柱上部に 875×40×217 mmの天板をビス止めするものとする。

[4. 棚板]

厚み 1.0 mmの鋼板を 870×180 mmに型曲とし、左右棚受の支持部に装着する構造とする。

[5. 棚受]

厚み 1.2 mmの鋼板を 215×120 mmに曲げ加工し、支柱の棚受け孔に上下左右合計 4 箇所打ち出した爪を差し込み、支柱の何れかの位置にでも容易に装着できるものとする。

[6. 背板]

厚み 0.8 mmの鋼板を 870×60×30 mmの型曲げとし、鉄板の後部に装着し、図書の落下を防ぐものとする。

[7. 1 連の間口]

1 連の間口は 900 mmとし、連数の増減は自由にできるものとする。

[8. 棚板耐荷重]

棚板の耐荷重は水平棚で 40kg 以上とする。

[9. 追記]

【耐震対策】

- ・連方向強化構造体（ソリッドスクエア）を 1 連 1 台組み込むこと。
- ・下部転倒防止として、床アンカー（M8 程度）固定を行うこと。

■OPAC 台

- ・予約棚コーナーに沿って 3 台ひと組、2 台ひと組にして 2 ケ所に設置する。
- ・サイズ（W×D×H）は、3 台用：1800mm×630mm×1000mm 程度、2 台用：1800mm×630mm×1000mm 程度であること。
- ・フロントパネル、中間用パネルを付けること。
- ・天板（内部）スチールハニカム、天板厚 20mm 程度、天板（表面）メラミン化粧板、平エッジ仕様、脚その他はスチール塗装仕上であること。
- ・それぞれの台数分のパソコンの収納用ケース（カギ付き）を付けること。

#### ■返却仕分け機

- ・公津の杜分館に設置する。
- ・バーコード（NW-7）と磁気テープで運用できること。
- ・返却処理をした後、磁気テープの帯磁処理ができること。
- ・返却仕分け機は、返却部と仕分け部、ソート部などがモジュール化していて追加変更ができること。
- ・RFID とのハイブリット運用や、RFID のみ運用への変更が可能なこと。
- ・返却口のブロックは2台用意すること。
- ・返却口に利用者が立てばタッチ操作なく多くの資料を効率よく返却できるようにし、返却口には15インチサイズ以上のモニターをつけて状況を分かりやすく案内できること。またタッチ操作で容易に分かりやすく返却操作する設定も可能なこと。
- ・仕分けは3仕分以上できること。
- ・返却口ブロックから左右後の3方向に仕分けケースをつけたサイズ(W×D)が、1800mm×2200mm以内であること。高さは、資料を入れる高さを900mmから1000mmの範囲で設計できること。詳細は導入前打合せで決定する。
- ・緊急停止ボタンがあり安全確保や、処理対応のための一時停止処理などが容易にできること。
- ・レシートプリンタの接続もUSBで可能なこと。
- ・図書館システムと連携するプロトコルは、TCP/IPで、SIP2またはABCでコミュニケーションが取れること。
- ・電源はAC100Vとする。
- ・騒音は、55dB以下に抑えること。
- ・返却口に資料を入れてスキャンできないときなどは返却口に資料を戻せること。その判断のスピードは、資料を次々と連続して返す操作の流れを邪魔しないタイミングでできること。
- ・返却可能な資料のサイズは、横幅400mm、高さ450mm、厚み100mmまで可能であること。
- ・バーコードは、360度どの向きでも走査できること。

#### ■BDS ゲート

- ・公津の杜分館に設置する。
- ・3MTM Tattle Tape™ 感知マーカー（住友スリーエム製）または他の磁気テープを用いた磁気検知方式で、イン、アウト兼用ゲート2通路型とする。
- ・衣類やカバンの中に入れた図書も検知できること。
- ・パソコンや床下配線、インバータ回路などから出るノイズに強く、誤作動が生じにくい機構であること。

- ・ 1 ゲートの通路幅が 910mm 以上であること。
- ・ ラティスは横幅 650mm 以内・厚み 90mm 以内とすること。
- ・ 感度調整機構等の誤作動防止対応がとれること。
- ・ パネル部本体に内蔵したセンサーを要し、通路内を通過した場合のみ警告音を発し、外側から接近しただけでは警告音を発しないものであること。
- ・ ラティスの高さを 2 段階で (1575mm～1778mm) 調整することにより、検知エリアの変更が可能なこと。
- ・ TattleTape™ の検知時に、音声アラームと警告ランプの両方で不正帯出を警告する機能を持っていること。音声アラームについては、音量及び時間を、警告ランプについては、点灯時間を無段階で調整可能なこと。
- ・ 電源制御部はボックス型とし、ラティス本体とは別置とする。電源は電源制御ボックスにて ON/OFF を行う。外形寸法 (W×D×H) は 315mm×216mm×295mm 以内とする。
- ・ キースイッチによる電源 ON/OFF 機能を有し、管理者以外が電源の操作を出来ない構造となっていること。
- ・ 電源制御部のボックスには電源 ON を示すランプ、および検知を示すランプが付いていること。
- ・ 通路内にセンサーを有し、通路内の通過数をカウントするカウンターをパネル本体にもっていること。
- ・ EN 規格 (EN50357 及び EN50364) を満足すること。
- ・ 電源は AC100V とする。
- ・ 既に装着済みの 3MTM Tattle Tape™ 感知マーカー (住友スリーエム製) との完全な互換性があること。

#### ■ デジタルカメラ

- ・ 120 万画素数程度以上で、焦点距離は 24mm からであること。
- ・ 開放絞り値は 3.0 からであること。
- ・ 光学ズーム 15 倍程度可能なこと。
- ・ 手ぶれ補正機能があり、画像ファイル形式は、静止画は JPEG、動画は AVCHD または QuickTime Motion JPEG であること。

#### ■ そのほか

- ・ 現在使用している PATLITE Signal Tower NHE 型を移設する。本館 1 階カウンター、返却コーナー、2 階参考資料室カウンターの端末に設定する作業は図書館側で行う。
- ・ サーバが NTP により時間合わせを自動で行い、クライアントはそより時間合わせを行うこと。
- ・ バーコードスキャナーでスキャンした資料はチェックデジットチェックを行うこと。

- ・ LAN 機器を設置の後、経路別に速度を測定し、運用上支障がないことを確認し、その結果を図書館に提出すること。
- ・ 予約棚コーナーおよび本館の OPAC は別紙予約棚図面に沿うように設置するため、現在ある雑誌架を移動する必要がある、この移動作業も調達に含む。

### ハードウェア台数

#### 成田市立図書館

通番	ハード	本館ほか 台数	公津の杜 台数	合計	備考
1	サーバ類	要求仕様を満たした条件での提案をすること			
2	CTI サーバ	1		1	
3	HUB などネットワーク機器	要求仕様を満たした条件での提案をすること			
4	レーザプリンタ(白黒)	5	1	6	本館 4 台、成田分館 1 台
5	レーザプリンタ(カラー)	1	1	2	
6	業務用端末	47	6	53	本館 32 台、分館 15 台で 47 台
7	業務用ノートパソコン	2	0	2	本館に MACBOOKPro1 台、Windows1 台
8	タッチ OPAC	6	2	8	OPAC は、本館 12(タッチ 5)、成田分館 2(タッチ 1)、公津の杜 4。本館の 1 台は予約棚の確認端末を想定。
9	WebOPAC	8	2	10	

10	ディスプレイ	61	10	71	業務端末、OPAC 端末分
11	スレート PC などハンディ端末	8		8	移動図書館、非常時貸出、書架での資料状況確認のために使用。
12	レシートプリンタ	61	10	71	業務端末、OPAC 端末分で、自動貸出機のは除いている。
13	バーコードスキャナー	50	6	56	業務端末、ノートパソコン、予約確認端末分。
14	自動貸出機	4	2	6	ビデオテープ貸出機はつけない。
15	自動返却仕分け機		1	1	
16	ブックチェック		1	1	
17	BDS ゲート		1	1	公津の杜は 2 通路。
18	業務用無線 LAN 機器	要求仕様を満たした条件での提案をすること			
19	ドキュメントスキャナー	1	1	2	
20	スキャナー(フラット型)	1		1	
21	NAS ドライブ	1		1	
22	デジカメ	1		1	

そのほか、システム導入にあたって必要となる機器は合わせて導入するように見積もること。